

●2023 年度 企画展

絵筆がとらえる真実 レンズでさぐる世界 —絵画と写真 表現の探求—

同時開催 笠間高等学校メディア芸術科 写真作品展

■展覧会ポスター (B2) ポスター及びチラシ (A4) 掲載作家 五十音順

海老原豊、小曾納久男、陶山充、高橋由一、森本草介、ヴィック・ムニーズ、ロイ・リキテンスタイン



会 期	2024 年 1 月 2 日 (火) — 3 月 10 日 (日)
会 場	笠間日動美術館 企画展示館
主 催	公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館
後 援	茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／共同通信社水戸支局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局／東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■開催日数：60 日

■入館者数：3,836 人

■出品点数：83 点

■展覧会趣旨

高橋由一は、西洋画の迫真性を多くの日本人に伝えるために身近な「鮭」というモチーフを選び、鱗の一枚一枚まで写し取るかのように描写しました。現代においても、森本草介や小木曾誠、陶山充らは写実を追求して精密な絵画を生み出しています。由一の没後 130 年にあたり、本展では彼ら写実の画家たちはじめ、アーティストによるオリジナルな表現の探求に着目します。サルバドール・ダリは対象をリアルに捉えながら超現実世界を表し、ポップアートを代表する画家、ロイ・リキテンスタインは漫画の一コマを拡大して印刷インクのドットまで描出しました。また、写真を利用して新たな可能性を模索するアーティスト、ヴィック・ムニーズらの作品とともに、広告写真を中心に活躍している海老原豊、テレビ番組に携わりドローン映像でも注目される小曾納久男らの写真を紹介します。

■展覧会場風景



■担当 長谷川 翠／塚野 卓郎

■関連イベント

・ギャラリートーク

日付	1月6日(土)	2月10日(土)
担当	海老原豊氏(出品作家) / 小曾納久男氏(出品作家) / 長谷川翠	
参加者数	30名	20名

・同時開催 笠間高等学校メディア芸術科 写真作品展(会場:企画展示館 2階中央展示室)

【笠間高校メディア芸術科】

笠間高校メディア芸術科写真専攻の写真作品群を展示いたします。

本学科では人物、日常のスナップやロケーション撮影、植物やマクロ撮影など、さまざまなジャンルの写真表現に日々挑戦しています。写真を通じて、自分が感じていること、関わる地域の情報や世界のこと、人々の思いなどを表現することで、人と人を繋ぐこと、そしてその「場」を活性化することを目指しています。現代を生きる高校生がカメラのレンズ越しに捕らえた「今、この瞬間」をご覧ください。



■メディア掲載・取材

No.	日付	媒体名	コーナー	掲載作品
1	12・1月号	和楽	提携美術館	-
2	2・3月号	和楽	提携美術館	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」、高橋由一「鮭」
3	4・5月号	和楽	提携美術館	-
4	1月号	月刊美術	展覧会情報	-
5	2月号	月刊美術	展覧会情報	-
6	3月号	月刊美術	展覧会情報	-
7	1月号	月刊ギャラリー	展覧会情報	-
8	2月号	月刊ギャラリー	展覧会情報	-
9	3月号	月刊ギャラリー	展覧会情報	-
10	1月号	月刊みと	ART SCHEDULE	-
11	2月号	月刊みと	イベント/プレゼント	陶山充「ノートルダム大聖堂」
12	1月号	常陽藝文	催し物情報	-
13	2月号	常陽藝文	催し物情報	-
14	3月号	常陽藝文	催し物情報	-
15	1月号	スペースマガジン	催し物情報	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」
16	2月号	スペースマガジン	催し物情報	-
17	3月号	スペースマガジン	催し物情報	-
18	1月号	美術の窓	展覧会スケジュール	-
19	2月号	美術の窓	展覧会スケジュール	-
20	3月号	美術の窓	展覧会スケジュール	-
21	1月20日	朝日新聞	県版インフォメーション	小曾納久男「青い狩人 翡翠」
22	1月18日	茨城新聞		ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」、高橋由一「鮭」、陶山充「ノートルダム大聖堂」
23	2月23日	茨城新聞	連載記事(全4回)	高橋由一「丁髷姿の自画像」、藤井勉「ななつ」、森本草介「微睡の時」、小木曾誠「静輦なるものたち」
24	2月10日	産経新聞		森本草介「微睡の時」
25	2月21日	読売新聞		高橋由一「鮭」(会場写真)
26	3月3日	東京新聞		森本草介「微睡の時」(会場写真)
27	1月号	いーじーぶれす	プレゼント	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」
28	12月21日	よみうりタウンニュース		ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」

29	12月25日	ふるさと		森本草介「微睡の時」
30	12月25日	フレッサ(下野新聞)	プレゼント	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」
31	1月1日	茨城新聞	年賀広告	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」
32	1月3日	茨城新聞	年賀広告	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」
33	2月22日	NHK水戸	お昼のニュース、いば6	会場映像、高橋由一「鮭」、森本草介「微睡の時」
34	WEB	Tokyo Art Beat		-
35	WEB	いーじーぶれす	イベント	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」、高橋由一「鮭」、小曾納久男「青い狩人 翡翠」
36	WEB	いばナビ	イベント	ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」、高橋由一「鮭」、会場写真
37	WEB	いばらき文化情報ネット	文化イベント情報	ポスター画像
38	WEB	びあエンタメ情報		ムニーズ「FAMILY, AFTER FOUJITA (REPRO)」

■出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法	サイズ (cm)
第1会場 絵筆がとらえる真実 明治の写実					
1	チャールズ・ワーグマン	浦の風景		油彩・画布	45.5×76.5
2	チャールズ・ワーグマン	百合図	1878	油彩・画布	81.7×60.5
3	高橋由一	丁髷姿の自画像	1866-67	油彩・カンヴァス	48.0×38.0
4	高橋由一	鮭図	1879-80	油彩・板	85.9×24.6
5	高橋由一	鯛図		油彩・板	54.7×75.8
6	高橋由一	本牧海岸	1877	油彩・カンヴァス	51.7×63.9
7	五姓田義松	人形の着物	1883	油彩・カンヴァス	151.5×115.6
8	川村清雄	ベニス風景	1874-81	油彩・板	91.2×45.3
現代の写実					
9	野田弘志	静物	1982	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
10	岩田栄吉	自画像	1952	油彩・カンヴァス	72.7×60.6
11	岩田栄吉	マヌカン(トロンブルイユ)	1974	油彩・カンヴァス	116.0×74.0×18.7
12	城戸義郎	Self portrait	2001	油彩・カンヴァス	61.0×45.8
13	城戸義郎	天球儀		油彩・カンヴァス	120.7×76.7
14	伊牟田経正	パンドラ	1976	油彩・カンヴァス	112.1×145.5
15	桜田晴義	黒いボデゴン	1988	油彩・カンヴァス	98.5×202.0
16	稲垣考二	杏子	1982	油彩・カンヴァス	130.2×162.2
17	森本草介	微睡の時 (2/1-3/10 展示)	1984	油彩・カンヴァス	91.0×116.5
18	藤井勉	ななつ	1983	油彩・カンヴァス	117.0×117.0
19	小木曾誠	静かなものたち	2005-06	テンペラ・パネル	116.7×116.7
20	陶山充	ノートルダム大聖堂 ※作家蔵	2023	アクリル	60.5×79.5
21	陶山充	凱旋門 ※作家蔵	2023	アクリル	80.3×60.6
22	山本大貴	Sound of Silence	2010	油彩・カンヴァス	116.7×116.7
23	中原未央	tomato-box life	2023	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
モダンアート					
24	金昌烈	水滴 PA 84020	1983	油彩・カンヴァス	195.0×162.0
25	ロイ・リキテンスタイン	夢想	1965	スクリーンプリント	68.7×58.3
26	サルバドール・ダリ	ピカソの肖像	1977	リトグラフ・紙	55.0×41.0
27	サルバドール・ダリ	哲学の錬金術師 フェニックス	1975	エッチング・紙	76.5×57.0
28	ロバート・ラウシェンバーグ	Signs	1970	スクリーンプリント	109.2×86.4
29	アントワヌ・プーベル	Sans title	2001	デジタルプリント・アクリル	194.0×99.1
30	ヴィック・ムニーズ	FAMILY, AFTER FOUJITA (Repro)	2017	デジタルCプリン ト	231×180.3
第2会場 レンズでさぐる世界					
30	海老原豊	American Tune/Morocco 30点 ※作家蔵			
31	小曾納久男	青い狩人 翡翠 23点 ※作家蔵			